

産業廃棄物処理計画書

平成25年12月19日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者 日田市杵町1935-1
 住所 南中央牧場 利喜
 氏名
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 中央牧場
事業場の所在地	日田市杵町大字萩集1935-1
計画期間	平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	酪農 01. 農業
②事業の規模	経産牛 25 初妊牛 9 育成牛 18
③従業員数	2名 パート 2名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	牛舎の糞尿 → 風乾施設へ → 処理後の牛糞 → 1/3を牛舎の敷料 残りを堆肥舎へ



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

牧場主(本川一喜)
年内、もどし堆肥として利用しているが、牧場外に販売する
ことは、ほとんどない。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (24 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	牛糞尿	死体 3頭
	排出量	1876 t	2 t
	(これまでに実施した取組) 1/3を戻し堆肥 2/3を、東平里管農の承田へ自家消費 一部、販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛糞尿	死体
	排出量	1778 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 一部の育成牛を北海道へ上牧、 堆肥化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (24年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	牛の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1876 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1778 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (24年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	牛の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	1876 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1552 t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	1778 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1452 t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (24年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (24年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	牛の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			